

## 令和元年度下半期 国際委員会活動報告

### (1) 学術集会日韓ジョイントシンポジウム

・2019年度の第61回学術集会における日韓ジョイントシンポジウムのテーマは神経芽腫であった。

日本側の演者として、

・京都府立医大 家原知子先生/大阪市立総合医療センター 米田光宏先生

韓国側の演者として、

・Samsung Medical Center Dr. Kiwoong Sung

・Seoul National University College of Medicine Dr. Hyun-Young Kim

がそれぞれ選出され、学会3日目11/16午前中に開催された。

・2020年度の第62回学術集会日韓ジョイントシンポジウムのテーマは、造血幹細胞移植である。日韓それぞれ2名の演者が予定されており、選考中である。

### (2) 韓国小児血液がん学会(KSPHO)からの演者推薦依頼

・KSPHOから本学会あてに、2019年10月25日にソウルで開催されるKSPHO学術集会のJSPHO/KSPHO joint symposiumの演者推薦の依頼が来た。今回のテーマはリンパ腫とのことで、JCCGリンパ腫委員会と協議の上、下記2名を本学会として推薦し、講演が行われた。

・聖マリアンナ医科大学森鉄也先生：日本における新規治療薬の開発について、

・立名古屋医療センター関水匡大先生：日本におけるリンパ腫臨床試験のオーバービュー

・2020年10月23日にソウルで開催されるKSPHO学術集会のJSPHO/KSPHO joint symposiumのテーマは悪性骨腫瘍である。詳細が決まり次第、演者を推薦する予定。

### (3) WHO小児がんProject

WHOが2018年からの取り組みとしてWGlobal Initiative for Childhood Cancerのprojectを立ち上げた。目標達成に向けて、当学会としても日本小児がん研究グループ(JCCG)および国立国際医療センター(NCGM)との連携のもと、協力していく方針が確認され、数度会合が開催された。現在はCOVID-19対応のため活動休止中である。

以上

文責：康 勝好